

# 合格体験記（京都府立大学）BS科 Tさん

進路先： 京都府立大学 農学食科学部 農学生命科学科

## どのように進路を決めたか？

私は将来農業分野で活躍できる研究者になりたいと幼い頃から考えていました。その過程で園芸高校への進学を決断しました。なので、入学する前から大学(できれば国公立大学)に農業高校推薦を用いて進学することを目標にしていました。

京都府立大学を選んだ理由は、

- ・園芸高校から進学できる中でもレベルが高いから
- ・少人数制で、質の高いご指導を受けることができるから
- ・大学院への進学率が高いから
- ・大阪から通える国公立大学だから
- ・興味を持っている研究室があるから

です。そのほかに、興味のある研究室があり、学べる内容も私が求めていたものと一致していたため、京都府立大学しかないと考えました。将来、研究者になりたいという夢に近づくための選択をしました。

また、受験勉強をして、農業専門科目だけでなく、一般科目の知識を身につけておきたい、受験勉強を経験しておきたいという思いもありました。なので、入試に学力試験があり、レベルが高い京都府立大学に挑戦しようと決めました。

## どのように準備をしたか？

私は入学当初から推薦を用いて進学すると決めていたので、定期考査やレポート等の提出物に真面目に取り組み、いい成績を残せるようにしました。

部活動(バイオ研究部)で研究に取り組み、研究発表会などにも積極的に取り組みました。

京都府立大学の学校推薦型選抜の入試には学力試験(化学・生物・物理・英語の総合問題)がありました。

- ・学力試験

3年生の5月半ばから化学・生物・物理・英語の勉強を一からやり直しました。

基本的な知識を固めるのはもちろん、発展問題を繰り返し解き、入試に備えました共通テストの過去問題も用いました。

過去問題にネイチャーやサイエンスから引用された文章の問題があったため、専門的な英単語の確認などもしました。

夏休みは毎日最低10時間勉強しました。

・面接

3年生の夏休み明けごろから園芸高校の先生方にご協力していただき、たくさんの先生と会話する練習をしました。

自分の考えをまとめること、質問されたことに対して的確に答える練習をしました。

特に、質問に対する答えを簡潔にまとめることと初対面の人と話すことが苦手だったため、苦手意識がなくなるまでたくさん練習しました。

## 学校生活やクラブについて

バイオ研究部に所属し、「動物の腸内細菌を用いたセルロース資源の糖化」というテーマで三年間研究に取り組みました。得られた研究成果を用いて英語での研究発表に挑戦したりしました。これらの取り組みは、推薦入試での話の種になりました。

## 資格や表彰

[資格]

FFJ 検定 上級、実用英語検定 2 級、

[表彰]

ジュニア農芸化学学会銀賞、応用糖質学会優秀発表賞、IBL ユースカンファレンス銀賞、FFJ大阪府大会プロジェクト発表 優秀賞など

## 園芸高校に興味のある皆さんへ！

園芸高校はフラワーファクトリ科・環境緑化科・バイオサイエンス科の三つの学科に分かれており、広い敷地、整った設備のもと農業を専門的に学ぶことができます。自然が大好きで体や手を動かした実習が好きな人・にとってもおすすめです。

園芸高校の魅力の一つは、進路の幅が広いことです。園芸高校での実習や農業クラブでの取り組みは、進路を決める際にとっても評価していただけます。

進むことが難しい進路であっても、農業高校で頑張った実績が評価され、新しい進路を切り開くこともできます。

あなたも園芸高校で農業高校生活を送ってみませんか？